

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第1回 理事予定者会議

日 時：2013年 9月 24日(火) 19:30～22:00

場 所：総合文化センター 第1会議室

出席者：

- (理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) : 福田(治)
(顧 問) :
(副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
(専 務 理 事) : 中島(崇)
(監 事) : 黒川、澤畑、飯野
(担 当 常 任 理 事) : 林
(全国大会招致会議議長) : 羽石
(会員拡大会議議長) : 太城
(協働連携特別会議議長) : 篠崎(達)
(法令会計審査会議議長) : 廣田
(事 務 局 長) : 橋本
(委 員 長) : 飯沼、新妻、豊崎、鈴木、木村(武)、中島(晴)、相馬
(副 議 長) : 宮林、渡邊、山田、福田(弘)、高松、八木、安野
(理 事) : 船見、青木、横島、岡田

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <横島>
3. JCIミッション唱和・JCIビジョン唱和 <八木>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <青木>
5. 関東地区宣言唱和 <岡田>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事 31名/34名
7. 議事録作成成人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>
署名人 村上 正高
黒川 崇
澤畑 敦史
飯野 貴道
8. 議題並びに資料の確認 <橋本>
9. 理事長挨拶 <村上>

まずは、2014年度理事の皆さんに定刻どおりお集まりいただきまして、本当に感謝申し上げます。また、2013年度会期中でございますが、福田理事長そして2013年度の皆様方にこの会期中にも関わらず、次年度の会議を進めさせていただくことを感謝申し上げます。冒頭、出席者の確認をしたところ、本日残念ながら全員集まっておりませんが、すでに次年度の公務に多くのメンバーが出向に出ています。来年は、山本顧問が関東地区の常任理事、関東地区の会長として出向いたしております。そして赤松君が日本J Cの委員長に出向しており、その関係で金君が総括幹事について行っておりますので、本日は公務のため欠席しております。また、梅田君におきましても総務委員会の副委員長ということで、本日、日本J Cの常任理事会が今現在開催されているものから、そちらの方の設営をしております。出向しているメンバーもすでに頑張っているということをご様方常に意識をしていただければと思います。さて、先だって理事面談をさせていただきまして、皆様一人ひとりから意気込みを私が聞いたわけでございますが、その日ほんとに嬉しく思いました。その理事面談にきていただいて一言ずつ話していただきまして、それぞれ来年の役割というものをすでに考えていらっしゃる。何を話すかということも多分シナリオもつくっていたのだらうなという人も何人もいました。勿論全部いい伝えられなかった人も多いかと思いますが、その一つのことに対して準備をしていただいたという行動に私、非常に感激をしました。2014年度の宇都宮J Cもきっと皆様の自覚と気概を持って運動が進んで行くのだらうという風に今の時期ではございますが、確信をしたわけでございます。この物ごとの一つひとつに対して準備を万端にしていくということは、非常に重要なことでございます。委員長の皆様におかれましては、これから委員会のメンバーが配属になってきます。一人ひとり会費を払って1年間の多くの時間をこのJ Cの運動そして活動に費やしていくわけでございますから一人ひとりに責任があります。その責任をしっかりと感じていただいて、今の段階でしっかりとどういった委員会の運営をしていかしかり想い描き準備をしていただければ、きっと来年の運動は進んで行くものだと私は思っております。

さてセレモニーで一点気になったことが御座いました。セレモニーのJ C I クリードですとかJ C I ミッション、J C I ビジョンを唱和しておりますが、自信なさそうにしている理事がまだいらっしゃいます。是非、予定者会議のうちに完全に暗記をしていただいて、堂々と大きな声でセレモニーができるように、理事として心がけていただきたいと思っております。また、私が所信の方にも書かせていただいておりますが、身だしなみを常日ごろ理事の皆様におかれましては意識をしていただいて、過ごしていただければと思います。

皆様理事はみられております。後輩からも市民からもみられているということをしっかり自覚してもらって1年にしていただきたいと思っております。所信の中で市民そして地域という言葉を書かせていただきました。物ごとをすべて何のためにやるのが目的か、誰のために何のためにやるのか、それが私は重要だと思っております。それは仕事でも、家庭でもなんでもそうだと思います。そういった意味でそこを強調し、所信の方は書かせていただきました。宇都宮J Cは市民と地域のために存在しています。皆様方の役割、来年はそれぞれその目的があるわけでございます。今、事業計画も書いていただいておりますが、この予定者の時期にしっかりとその目的を意識して事業計画にも取り組んでいただきたいと思っております。第1回の理事会、はじめて理事になった方もいらっしゃいます。緊張感のある中でこの会議が1年間進んでいくわけでございます。この会議が全てでございます。理事一人ひとり自覚を持って、150人のメンバーの代表として予算執行をこの場で行うわけでございますから、理事としての自覚、気概を持って公益社団法人宇都宮青年会議所の理事として誇りと自信を持って2014年度を共に歩んでまいりましょう。期待しております。ありがとうございました。

ようこそこの2014年度の理事会にお越しくございました。

私はこの2013年度の理事長という役で、皆さんプレートも白にし、村上理事長らしく徹底され、私だけはそれを白にしたいとできない人間ですが、2013年度の宇都宮JCの運動に際しまして皆様に多大なるご協力をいただいていることに対し、改めて御礼申し上げますとともに、今日この日を皆様と共に迎えられた事に心よりお祝いと歓迎を申し上げます。本当にここにお越しいただきありがとうございます。また、2014年度より理事会構成メンバーになりましたメンバーの皆様におかれましては、ようこそ理事会へお越しいただきました。先程、村上理事長もおっしゃられていた154名の中の40名、選ばれた40名でございます。気概と覚悟を持って、この2014年度に大輪の花を咲かせるべく1年間最後まで悔いの残らぬようまっとうしていただきたいとおもいます。どうぞ宜しくお願いいたします。

直前理事長の挨拶ということでございますので、本日2点ほど、皆様方にお話しさせていただきますと思います。皆様に今日配られているこの所信、バージョン35とあります。村上理事長は今年度の日本JC国際担当常任理事その前は、APDC事務総長、本当に国内、国外問わず世界中でJC運動、活動をされてきた中で、予定者として35までバージョンをあげてこられました。全員がご存知かはわかりませんが、2009年『未来の地域に約束をしよう』2010年『全ては絆からはじまる未来への架け橋となるために』2011年『未来への情熱と直向な行動が地域を変える』2012年『宮の和をもって真のJAYCEEとなる』2013年『徳高くてかくあれJAYCEEの叡智と美徳が地域を変える』覚えて来たわけではないですが、村上理事長は所信をしたためるにあたって皆様方の顔をみながら、そして直近の先輩方の所信を何度も何度も読み返しつくりあげたはずで、私がたまたま過去4年間を申し上げましたけれども、この2009年2010年の2人は完全に宇都宮の新たな時代のためのベースとなることを覚悟されていた2人です。2010年の直井先輩にあたっては、未来の懸け橋のためにと自らうたっています。自分が主役じゃないのです。そして、今日は来られませんでした徳原顧問が理事長の時は、設立45周年の年でしたから、その年に本当に情熱とひた向きの努力をしました。その次の年に、『宮の和』です。皆さんとともにその強い繋がりを山本理事長がつくっていただきました。そこに僕は今年どんなエッセンスを加えればいいのかと、まわりに賞賛されるためではなく、JCとして徳高くありたいと想い、その言葉をテーマに入れさせてもらいました。そして村上理事長は市民の代表として、市民に向き合うという言葉が所信にたくさん出てきます。それは、2014年度理事長所信 村上正高と入っておりますが、ここには過去47人の理事長の想いが継承されているものだというのをわかっていただきたい。それを踏まえ、本当に時間も忙しいうち、今日この理事会のために、そして、明日の宇都宮のために村上理事長はバージョン35までつくりあげてきたのです。是非とも皆様それをご理解していただき、この2014年度市民と向き合い、市民を率先する市民であるために運動し、この宇都宮に、そしてこの理事会構成メンバー皆様が、大輪の花を咲かせるようにしていただきたいと思っております。

もう一点でございますが、先日東京オリンピックが2020年に決まりました。色々な方と話をしているとオリンピックまでの向き合い方とか、オリンピックまでどう過ごすのかとか、JCとして考えてくださいといわれます。前回のオリンピックとは絶対に違う時代ですから、今その過ごし方を示せるのは、これは、僕はJCだけしかないと思っておりますので、是非とも皆様がたにはこの1年をかけて考えていただきたい。そして2022年は栃木県で国体も開催されます。そういったことが続いていく中、村上理事長は全国大会招致会議というものを委員会で残していただいております。是非そのことにもしっかり向き合う時期に来ておりますし、この2014年度の理事会構成メンバー皆様方でそこを極めていただきたい。ぜひともお願いをしたいと思います。まずは第1回目の理事予定者会議が心からここにいる皆様方との時間とつながり、そして村上理事長の所信が皆様方の血の一滴となる時間となることをご祈念いたしまして私のご挨拶とさせていただきます。本日も最後までどうぞ宜しくお願いいたします。

- <中島(崇)> 本日は第1回理事予定者会議でありますので、ご出席いただいております理事予定者の皆様お一人おひとりからご挨拶を頂戴したいと思います。林常任から時計周りをお願いいたします。
- <林> 今年度10月に例会を控えており、今必死に活動しているところでございますが、次年度このような大役を仰せつかり身の引き締まる想いでございます。委員会におきましては相馬委員長、そして出向で忙しい副委員長の分も頑張っていかなければいけないので中島(晴)委員長を、万全を期してサポートしていきたいと思っております。次年度1年間どうぞよろしくをお願いいたします。
- <相馬> 本年度、林次年度常任と共に10月の例会に向け奮闘している最中でございます。次年度も理事長所信をもとにわんぱく相撲、ストリートダンスをしっかりと詰めてやっていきたいと思っておりますよろしく申し上げます。
- <岡田> 2014年度初理事として選ばれ、理事長がいわれていた理事としての自覚を自分自身にいい聞かせ2014年度をやっていきたいと思っております。よろしく申し上げます。
- <福田(弘)> 全国大会という大きな目標、宇都宮の未来を担う役職を与えていただいたことを光栄に思います。全力で頑張りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。
- <山田> 本年度の事業が今週土曜日に迫っており、なかなか頭の切り替えが難しいところでございますが、来年1年間は所信にもありますように日本J.Cの全国大会が招致できるよう羽石議長、福田副議長と三人四脚で頑張りたいと思っております。全国大会招致は理念だけではなく情熱、熱意が必要になると思っておりますので、その想いを共有し、この重役に少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。宜しくお願いいたします。
- <羽石> この中で何人の方が、宇都宮が全国大会をとるということを本気で考え、そのために理事として何をすべきなのか考えている方がいらっしゃるでしょうか。これは大きなことだと思います。私も全国大会に何度か行かせていただき、それを宇都宮でやるということに責任の重さを強く感じております。そのために来年1年間何をすべきかを副議長と共に考え、また小瀧副理事長を支え宇都宮で全国大会という花を咲かせるための懸け橋になるべく、1年間頑張っていく所存でございます。1年間厳しいことをいうかもしれませんが、どうぞ宜しくお願いいたします。
- <八木> 私は皆様と大きく違う点は、サラリーマンであるということ、特に皆様ご存知ないと思いますが、正社員ではなく、契約社員です。こういった身分で皆様と一緒に理事としてこの運動体で考えていけることを嬉しく、光栄に思っております。ただ所信にありましたように、この51万人の市民の中で、さらに私たちと同じJ.C世代13万人の中には経営者だけでなくサラリーマンもいます。中には契約社員もいるでしょうし、派遣社員もいます。今後この運動が継続的に続けていくためには、私にできる仕事もあると思っておりますので、私は初の理事として、皆様のご協力をいただきながら、しっかりと1年間つとめさせていただきます。よろしく申し上げます。
- <高松> 皆様ご紹介を宜しくお願いいたします。

- <太城> 2008年から続いている会員拡大の流れを断ち切らないよう、会員の拡大を進めていくことが最大の目標でございます。そのためには、皆様のご協力なしでは達成することはできませんので、何卒、宜しく願いいたします。
- <安野> LOMでは村上理事長、LOM外では山本会長、須山運営専務を盛り立てていくべく、頑張っていきたいと思っておりますので宜しく願いいたします。
- <篠崎> 安野副議長のいっていたとおりでございますが、地区では事務局長としての責任を持って動いていきたいと思っておりますので、何卒、宜しく願いいたします。
- <飯野> 事業等がなく寂しい面もありますが、一步引いた立場から宇都宮J Cのためにいいにくいこともいって行き、少しでもLOMのためになっていければと思っております。また次年度は、関東地区に出向させていただいており、山本会長、須山運営専務、篠崎事務局長をしっかり支え、がんばっていきたいと思っておりますので、1年間宜しく願いします
- <澤畑> 飯野監事の後ではということがないですが、自分に一番いい聞かせるようなコメントをしていきたいと思っております。今後、初理事の皆様にはこの理事会でどんどん意見を出してほしいと思っております。三人四脚の監事で頑張っていきたいと思っております。宜しく願いします。
- <黒川> 監事である以上冷静な立場に立って理事会を公正な立場でみていきたいと思っておりますので、初理事の方もあまり緊張しないでください。1年間宜しく願いいたします。
- <朝田> 我々の未来創造グループは市民と直接向き合う委員会と思っております。理事長所信にあるように市民の意識をどう変えていくかが大きなポイントであります。2つの委員会だけではできないことも多々あると思っておりますが、皆様から多くの意見をいただき素晴らしい事業を行っていきたくと考えております。また我々のグループは出向者も多く抱えておりますので、私の経験を活かしスタッフやメンバーの皆様にも力添えができればと考えております。どうぞ1年間よろしく願いいたします。
- <木村(英)> 太城議長からもありましたが、拡大はLOM全体で行うものなので、皆様のご協力なくしてLOMの拡大はありえません。私は副理事長という役目で拡大という旗を目一杯振って行きたいと思っておりますので、皆様ご協力の程、宜しく願いいたします。
- <中島(崇)> 若輩もので、皆様に色々と協力をいただく場面、そしてご迷惑を掛けてしまう場面もあるかもしれませんが、公益社団法人として、しっかりと舵取りを運営面からつとめていきたいと思っております。頼もしい専務になれるかはわかりませんが、誠心誠意全ての時間をJ Cに使う1年にしていこうと思っております。宜しく願いいたします。
- <福田(之)> 副理事長という立場ははじめてですが、J Cは毎年役職が変わり、その中で毎年役を演じてきました。2014年度は副理事長としての役職をまっとうし、村上理事長を支えながら、副理事長5人力を合わせ、宇都宮J Cがよりよい発展を遂げるよう邁進してまいりますので、1年間宜しく願いします。

- <小瀧> 諸先輩のお陰で、日本J Cの理事会においても宇都宮J Cの存在の大きさは徐々に高まってきていると思います。関東地区においても規模においては3番目に大きいLOMということで非常に目立ってきているのではと思います。その中で全国大会招致会議の動きとしては、全国大会を獲る目的での動きは棘の道かもしれないし、修羅の道かもしれませんが、そこからえられるものというのは非常に大きいと思います。村上理事長のおっしゃるLOMのスキルアップにもなるし、宇都宮市民のためにもなる大変大きな大会です。羽石議長、山田副議長、福田(弘)議長と共に、LOMを盛り上げて全国大会主管を目標して頑張っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。
- <須山> 2014年度の理事構成メンバーの皆様と1年4ヵ月一緒に運動を作り上げることができることを楽しく思いますし、わくわくするメンバーが揃ったと思います。また、私も運営専務で関東地区に出向させてもらえることを、村上理事長、理事構成メンバーの皆様へ感謝申し上げます。色々と宇都宮をあけることもあるかと思いますが、全て宇都宮そして宇都宮J Cのためにやっていくこととございます。関東地区のキャビネットとして日本を飛び回りますが、地点は必ず宇都宮だということを知っていただきたいと思います。宇都宮に何をもち帰るか、どう宇都宮J Cを発信していけるか、村上理事長の想いを伝えられるかを背負って出向させていただきたいと思っております。ラインとしては協働連携特別会議ではありますが、どの委員会の事業にも積極的に参加させていただき、皆様と共に事業、例会をつくりあげさせていただければと思います。私も若輩ものではございますが、1年4ヵ月どうぞ宜しくお願いいたします。
- <廣田> 我々は、理事長所信にもありましたように、公益性と透明性の優れた組織に向かって全力でやっていきたいと思っております。私は理事経験が非常に短いので、皆様にはご迷惑を掛ける方が多いかと思っておりますが、そこは副議長と三人四脚で頑張っていきたいと思いますので、宜しくお願いいたします。
- <宮林> 本日理事予定者としてはじめてこの場に立ち身が引き締まる想いでございます。次年度は法令審査会議が期待されている役割、私が期待されている役割を誠意一杯達成していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。
- <渡邊> 私も初理事で緊張していますが、私はコンプライアンスを担当させていただきます。理事長所信にもある市民から信頼される公益性と透明性の優れた組織の確立ということで、これを目標にしっかりと取り組んでまいります。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。
- <橋本> 事務局長に決まり早2ヵ月程となります。1年半という長い仕事になります。私の仕事は、総務委員長、渉外委員長、J C運動発信委員長3つの委員会委員長が自分の仕事をまっとうして気持ちよく仕事をしてもらうこと。そして村上理事長をはじめとする宇都宮J Cを事務方として支えること。その2点に関し、残り1年4ヵ月真剣に頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。
- <飯沼> 総務委員会は常任理事会、理事会の設営などを担当させていただくことになりました。そうはいつでも私も初理事、メンバーも1年目2年目のフレッシュなメンバーを引き連れておりますので、皆様には多々ご迷惑をお掛けすることが

あるかと思いますが、メンバー一同10人11脚一丸となり、学ぶことを大切にしながら委員会運営を進めていきたいと思っております。その実践と結果が、理事長のおっしゃる社会の負託に応えることの下支えになれると信じ、総務委員会は頑張っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

<新妻> 渉外委員会が毎年やっていることなのですが、宇都宮JCをしっかりと支えていく、そして来年度は出向者の方が多いのでしっかりサポートしていくこの2点が重要だと思っております。皆様方の要求にもこたえられるような動きをしていきたいと思っております。渉外委員会は入会が浅いメンバーが多いですので、至らぬ点も多々あると思っております。その時はぜひ皆様のご指摘、ご指導をいただければと思いますので、これから1年半どうぞ宜しくお願いいたします。

<船見> 初理事としてこういう場に自分が座るといことはやはり緊張します。皆様の前で喋るといことにも慣れていないのですが、この理事の方々の顔を見てわくわく感が出てきました。また来年1年間このメンバーで、事業、諸大会など皆様と一緒に仕事をできることが、期待感でいっぱいです。来年度の渉外委員会はまだまだ1年2年目の人が多くJCのしきたり、作法というものがわからないメンバーが多いですので、委員会メンバーで切磋琢磨して勉強しながらLOMを下支えしていきたいとおもっております。ただ、いづらいいこともいわずにはいけない立場ですのでその際は、やさしいお言葉をいただければありがたいと思っております。宜しくお願いいたします。

<豊崎> JC運動、活動、皆様の例会、事業を遺憾なく発信できるように、また、宇都宮を存分にPRできるように頑張っていきたいと思っておりますので、皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

<青木> 先輩方から祭りの話を伺いまだまだ勉強不足だなと感じております。委員会が始まる前に祭りバカだなといわれるくらい祭りを語るように勉強してまいります。また、JCの祭りとは何なのかを考えながら日々、自己研鑽してまいります。宜しくお願いいたします。

<鈴木> 過去38回続いてきた宮まつり、そして宇都宮の伝統を大切にしながら、最終的に参加してくれる市民の皆様が「宮まつり楽しかったよ」といってもらえるような1年にするためにも、皆様のご協力を仰ぎながら1年間頑張っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

<木村(武)> 2008年に入会して2014年委員長という大役がまわってきました。2011年にあった東北の大震災、そこから地区で出向したり、炊出しに行ったりと現状をみてまいりました。今皆様の頭には復興が終わっているのではないかと思っている方がいるかもしれませんが、地域によっては復興が進まず、傷が癒えずまだまだ夜泣きする子どももたくさんいます。そういった中の事業ですので、自分にできるか心配になりましたが、自分にいい聞かせ受けたからにはやり遂げる気持ちで1年間行ってまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

<横島> 初理事で少し緊張しています。自分は今まで新規事業は委員としてストリートダンス、風雲宇都宮城を行って来て、すごく大変でしたがすごく面白かったです。次年度は2つとも新規の事業ということでどうなるかすごく不安なのです

けれども、来年ラストイヤーなので、その不安を一つひとつ潰していき、楽しみに変えて卒業したいと思います。次年度も宜しく願いいたします。

<中島(晴)>次年度は初理事、初委員長、そしてラストイヤーでもあります。未熟もので、とても不安で一杯なのですが、多くの市民を巻き込み、街づくりにつながるような事業をメンバーとつくり上げていきたいと思っています。1年間どうぞ宜しくお願いいたします。

1 1. 確認事項

確一01 2014年度 理事長所信(案)について

<中島(崇)>理事長所信を皆で読み合せを行います。身だしなみを整えて、姿勢を正しく、パソコンを閉じるようにお願いします。読み合わせに際しましては、一字一字読み間違えないよう丁寧にゆっくりと読むようにお願いします。本日は読み合わせを2回行いますのでよろしくお願いいたします。

※文章の読み間違いや、文章を飛ばした場合は中島専務より校正あり。

	一回目	二回目
冒頭	<村上>	<村上>
【はじめに】	<宮林>	<福田(弘)>
【世界とのつながり】	<安野>	<豊崎>
【青年会議書は学び舎である】	<飯沼>	<相馬>
【市民が主役のまちへ】	<渡邊>	<鈴木>
【市民意識の変革】	<高松>	<岡田>
【共助の精神】	<青木>	<新妻>
【真の「公」を目指すために】	<八木>	<木村(武)>
【市民の信頼と社会の負託に応え得る組織】	<船見>	<中島(晴)>
【未来への希望】	<山田>	<横島>
【結びに】	<新妻>	<飯沼>

<中島(崇)>この場で読むと緊張感もある中ですので、文言、文章の区切り等感う箇所もあったと思いますが、12月の予定者会議までは引き続き読み合わせを行うので読み込みをお願いします。会員配属会議後メンバーが決まった際もメンバーへの落とし込みを行ってください。

確一02 2014年度 基本計画(案)について

<中島(崇)>基本理念、スローガン、基本方針の3つで成り立っているが、理念は基本方針をもとに成り立っているの、基本方針から確認させていただきます。

1番項 人的交流グループ、2番項 未来創造グループ、3番項 全国会グループ、4番項 協働連携グループ、5番項 会員拡大グループ、6番項 専務グループ、こちらをすべて合わせて基本理念『最良の変化をもたらす市民による市民のための運動』こちらが成り立っています。なおスローガンは公募とさせていただきます。こちらに関しては、理事の皆様には所信を読み込んだうえで2014年度の運動のスローガンがどんなものか、村上理事長のお考えで公募してみたいということでございます。事業計画、年間事業計画等

にリンクがされてくることですので、10月4日締め切りで提出をお願いします。

確一〇三 2014年度 グループ構成（案）について

<中島(崇)>各グループの基本方針に則り、各会議、委員会として行うべき概要が載っております。中身を確認いただきまして、事業計画、年間事業計画の作成を依頼していますが、概要がしっかりとリンクしてくるよう作成をお願いしたいと思います。各委員会の読み上げ等はご一読いただき、省略させていただきたいと思っております。

確一〇四 2014年度 総会・例会・事業担当（案）について

<中島(崇)>次年度の1月から12月までの例会、事業の仮のスケジュール案を記載しておりますが、会場や講師のスケジュール等々で意見があれば、ラインの副理事長、専務理事まで意見をいただければと思います。日本J Cが実施する事業計画に関しても、決まっていることに関しては記載をさせていただいております。

確一〇五 2014年度 組織図（案）・対外出向者（案）について

組織図（案）について

<中島(崇)>組織図に関しては、理事会構成メンバー、幹事にはお声掛けいただいておりますが、決まっているところを記載させていただきました。専務グループの事務方に関しては、法令審査会議で2名、総務、渉外委員会ではメンバー6名ずつをすでに選出をさせていただいております。協働連携特別会議におかれましては、関東地区や日本への出向者の中から、すでに委員のメンバーを選出させていただいている状況です。それ以外に関しましては10月9日に行われます会員配属会議にて残りのメンバーの選出を行います。なお先日の常任理事会でご意見を頂戴しましたが、来年度は委員長、副委員長、議長、副議長そして幹事に関しましては運営幹事、会計幹事と職を分担しておりますので、次回理事会の際までその役職の職務分担表を私の方で提出させていただきたいと思っております。そちらをご確認し、メンバーへの落とし込みをしてください。

対外出向者（案）について

<中島(崇)>現状決まっている出向者のメンバーを記載しています。日本J Cでは山本君が関東地区協議会会長と兼務地区担当常任理事、赤松君が国際グループ 相互理解確立委員会委員長に選出されております。なお赤松君の委員会におきましては総括幹事から会計幹事以下委員のメンバーまで快諾いただいております。地域グループ全国大会運営委員会では小瀧君が議副議長に選ばれておりますが、現段階では確定ではない状況ですが、予定されております。山田副議長も小瀧副理事長と出向になっております。最後になりますが総務グループ 総務委員会、本日政策委員会副委員長である梅田君が、本日公務のため欠席となっておりますが、日本J C総務グループの副委員長として選出され、現状2014年度がスタートしている状況です。常任理事会、理事会、各会議の設営など日本理事会のクールにすべて出向の参加をさせていただいている状況です。本人も大変な中、困難に立ち向かっている状況でございますので、梅田君だけではな

いですが、例会等でお会いした際は出向メンバーにお声掛けをいただければと思います。関東地区協議会会長 山本君、運営専務 須山副理事長、事務局長に篠崎議長、事務局次長として飯野幹事、板林君そして、黒川幹事、安野副議長としてご出向をいただいております。キャビネットも確定しております。会長輩出LOMであり、キャビネットを預かる何十年に一度というタイミングの大きなことですので、LOMとしてしっかりとした支援を行っていきたいと思います。理事会構成メンバーの皆様も、ご協力の程、宜しくお願いたします。なお、関東地区協議会 会員交流委員会に関しましては、委員長に、鹿沼J Cの今年度理事長でございます小島理事長と聞いております。宇都宮は総括幹事を輩出をする予定となっておりますが、現状ではまだ空白ということにさせていただきたいと思っております。続きまして、栃木ブロック協議会でございますが、こちらに関してはまだ固まっておられませんので、空欄となっております。最後に栃木ブロック協議会でございますが、直前会長としまして山本和紀君、また副会長としまして、会員拡大会議高松副議長に出向をいただく運びとなっております。高松副議長のキャビネットはまだ決まっていない状況でございますので、今後決定次第お知らせいたします。

確-06 その他

12・報告依頼事項

報-01 2014年度 予定者スケジュールについて

<中島(崇)>現状予定者のスケジュールとして決まっているものすべて記載をさせていただいております。関東地区の会長を輩出、日本J Cの出向もでございますので、スケジュールが細かく盛沢山な内容となっておりますが、次年度の理事予定者の皆様は参加のご協力をお願いします。

10月の主なスケジュール

- 4日(金): 事業計画、年間事業計画、スローガン提出期限
- 9日(水): 会委員配属会議 (コンサーレ) 案内は総務委員会で発送済
- 11日(金): 2014年度関東地区事業説明会 関東地区の事業説明会 (グランドホテル) 懇親会 18:00~19:30 懇親会費 5000円
- 17日(木): 第2回常任理事予定者会議 常任理事構成メンバー
- 22日(火): 第1回法令会計予定者審査
- 25日(金): 財政上程セミナー
- 29日(火): 第2回理事会 (コンサーレ)

報-02 2014年度 年間公式スケジュール (案) について

<中島(崇)>理事会、総会も含めたスケジュールを記載しておりますので、スケジュールの確認をお願いします。意見が御座いましたらラインの副理事長、専務理事までご連絡ください。

報-03 公益社団法人日本青年会議所 2014年度 会頭所信について

報-04 公益社団法人日本青年会議所 2014年度 基本資料 (案) について

<中島(崇)> LOMが所属する日本J Cの指針という形で、次年度につながることでございます。理事長所信と同じくしっかりと読み込みを行っていただきたいと思っておりますので、委員会メンバーを含めて確認をお願いいたします。

報- 05 2014年度 事業計画(案)・年間事業フレーム(案)

<中島(崇)>理事メーリングにて配信させていただいておりますが、事業計画(案)・年間事業フレーム(案)の様式となっており、議長、委員長の皆様に作成を依頼しております。なかなかタイトな時間、そして本年度全国大会会期中で厳しいスケジュールではございますが、何卒、ご協力の程、宜しくをお願いいたします。

報- 06 その他

- 2013年度 郷土愛醸成委員会 黒川委員長より第3回ストリートダンスの案内
- 2013年度 渉外委員会 渡邊委員より全国大会奈良大会の案内
- 2013年度 市民交流委員会 相馬副委員長より市民交流例会の案内
- 2013年度 日本J C 国際グループグローバル経済戦略委員会 八木委員より全国大会経済セミナーの案内
- 2013年度 日本J C地域グループ全国大会運営会議 小瀧委員より全国大会大懇親会たから市の案内
- 2013年度 日本J C 国際グループ 村上常任理事より 全国大会国際フォーラムの案内
- 2014年度 総務委員会 飯沼委員長より会員継続通知と会員配属会議の案内
- 2014年度 橋本事務局長より理事就任承諾書、監事就任承諾書記入のお願い

13. 監事講評

<黒川>

まずは、会議ぎりぎりになってしまい申しわけございません。次回からは5分前、10分前に来て皆様の入ってくる姿でもみたいと思っております。本日所信がアジェンダにあがってきました、皆さんいかがだったでしょうか、この村上理事長の想いがのった所信、来年これが軸になってくると思います。本日読み合わせをしましたけれども、最初に専務から姿勢を正して読んでくださいといったにも関わらず、姿勢の悪い人たちが何人かいらっしゃいました。これは非常に残念だと思います。聞いていても姿勢の悪い方は、聞き取りにくいという印象も受けました。来月、再来月と所信の読み合わせがありますので、次回の理事会までには、もっと読み込んでいただきたい。読めない漢字も担当の常任理事、副理事長に聞いていただいて、スムーズに想いを込めて読んでいただきたいと感じました。そして来月配属される委員会メンバーは、委員長、議長の背中を見ていると思いますので、素敵な委員長であってほしい。最後になりますが、本日、第1回理事予定者会議をむかえるにあたりまして、総務委員会、渉外委員会の皆様、本当に設営ありがとうございます。お疲れ様でございます。長い1年になると思いますが、総務委員会、渉外委員会の皆様が、村上理事長を、宇都宮J Cを支える委員会だと思います。議事録が大変だ、マイクまわしが大変だ、そんなことは構わずに誠意いっぱいこよく行ってください。議事録を書くことも、理事会にでて来て1年間頑張っていたきたいと思います。以上監事講評とさせていただきます。本日はお疲れ様でした。

<澤畑>

理事予定者会議お疲れ様でした。総務委員会、渉外委員会の皆様、早くからの設営ありがとうございます。皆様に設営していただけることによって、スムーズな会議が開けます。1年間4ヵ月よろしくおねがいします。今回は確認事項がほとんどだったので、意見などなかったと思いますが、来月から協議などが始まり初委員長、初理事の方々は緊張されると思います。実際にどんな意見をいったらいいかわからない場面が出てくるとと思いますが、私は初理事、初委員長だからこそ出る意見も必ずあると思います。長年J Cをやっているメンバーだとなかなか出にくい意見も逆にあると思いますので、あまり躊躇せずに委員会をかかえる代表でもあることを忘れず発言し、審議に臨む際は納得の上で手を挙げていただきたい。あげた以上はメンバーにも伝えるといったしっかりとした考えをもって審議に臨んでいただきたいと思います。本日は長い時間お疲れ様でした。

<飯野>

総務委員会、渉外委員会の皆様早くから設営ありがとうございます。本日はじめて理事になった方もいらっしゃるの、J Cの理事になったということはどういうことなのか少し触れさせていただければと思います。J Cの理事ですので、ボランティア団体の理事というみかたもあるのですが、一歩外に出た場合は公益社団法人の理事ということになります。相撲協会の例をとってわかるように、公益法人とはとりたくても認定が下りないということで、非常に厳しい要件が課せられています。今度皆様に就任承諾書を書いていただきますが、それは最終的に名簿一覧になり、名前、住所、生年月日が栃木県庁に提出されます。栃木県庁はそれを公安委員会に照会します。ないと思いますが、以前に前科、刑事罰を受けたことがあるということになった場合、宇都宮J Cは解散になります。理事に的確ではないので変えるという手続きはなく法律上即解散です。皆様の行動一つひとつで最悪の場合48年で宇都宮J Cはなくなることもありえます。そういった認識のもと日々の立ち振る舞いに気を付けていただきたければと思いますし、また、理事長の所信にもあったように組織の存在自体を周知していくことが必要であります。次年度以降も宇都宮J Cの活動自体をマスメディア等々を通じて発信していくことになるとと思いますが、近年J Cの活動はいい面で新聞等々に取り上げられるともありますが、逆に悪い書き方をされるケースもたまに目にすることがあります。そうすると皆様お一人おひとりのちょっとした行動が、記事になってしまうこともありますので、その認識を改めて持っていただきまして行動していただければと思います。最後に皆様方の背中をみて委員会メンバー皆様が委員長、副委員長についていきます。委員長の皆様方が楽しまない、委員会メンバーが楽しめないことになっていきます。その責任を感じながらも、せっかくの理事でございますので、素晴らしい事業を構築していただき、宇都宮J Cの益々の発展に寄与していただければと思います。来年12月まで16ヵ月、長い間になりますけれども、宜しく願いいたします。<飯野>

17. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第1回 理事予定者会議議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高
 黒 川 崇
 澤 畑 敦 史
 飯 野 貴 道